

# コトバカッ!



コトバカ  
言葉家……言葉を操る専門家。言葉にバカに詳しい人。言葉にバカみたいにこだわる人。

コトのほかバカ。コトによるとバカ。コピーライターの俗称。

上から読んでも相川藍、下から読んでも相川藍。コトバカの相川藍が言葉についてコトバカるっ!

## 涼しくロトバ

シズル感のある言葉が増殖している。とくに食べ物をお店では、理屈めきで商品の魅力を瞬時に伝える擬態語が不可欠なのだ。近年は「さくさく」「もちもち」「ふわとろ」「ぷりぷり」などが流行中。「外側はかりっとして中はとろとろ」とか書いてあると、それだけで食欲が刺激されて「これください!」って言いたくなる。

化粧品店には「しっとり」「さらさら」「すべすべ」の肌へ導くスキンケアがずらりと並び、「ぷくらしたハリ」なんていう矛盾した表現もあるけど、この微妙さが女「コロ」。「じやっや」はいいけど「デカテカ」はだめ。「キラキラ」はOKだけど「ギラギラ」はNG。要するに女は、やせたいけどやつれたくないし、健康的でありたいけど太りたくない。華やかさはほしいけど下品な派手さはちょっとねなのだ。

節電イヤーの今年は「ひやひや」「キンキン」「ジュワジュワ」などの涼感用語を活用したい。ワコールの「スースーブラ」なんて、ネーミングだけで涼しそうだもん。いくら蒸し暑くてもだみ声で「あづーい」は禁句。どうしても暑さを主張したいときは、きりりとした

浴衣姿で「おめしついでございます」と言いましょう。

最近「シユツとした男」に人気が集まっているのも暑さ対策か。細身でさっぱりと垢抜けた外見を思わせる言葉だ。すっきり一重まぶたにさらっと薄い唇、汗なんてかきそうにないすらりとしたボディ。草食系のアンドロイドみただけど、とりあえずムダに熱を発散しないタイプが求められているのだろっ。

この夏は、そんなシユツとした彼と一緒に、頭がキーンとするシヤキシヤキのかき氷やつるつるの冷やしうどんを食べると涼しく過ごせそう。間違っても、男性ホルモンむんむんで顔の濃い男とたらだら汗かきながらジュワツとアツアツの餃子をもりもり食べるなんてありえないよね。と書きつつ、そっちのほうが意外と本来の夏らしくていいんじゃないの? という気持ちが無ラムラとわき上がってきてしまったわ。

あいかわ あい ことばか  
相川 藍 (言葉家)

丸の内文学賞 (大賞)、朝日広告賞 (最高賞)、インターネット書評コンテスト (最優秀賞) 受賞。早稲田大学第一文学部卒。コピーライター。